

森准教授（高知大）・宗崎指導主事を迎えて道徳科の授業づくり

昨年度より本校は、香川大学：植田教授、高知大学：森准教授、津野町：久寿教育長、西部教育事務所：宗崎指導主事をお迎えして道徳の研究を進めています。

1年1組は、7月12日（水）「たびに出て」（礼儀）の授業を西部教育事務所：宗崎指導主事に、1年2組は9月7日（木）「ハムスターの赤ちゃん」（生命の尊さ）の授業を高知大：森准教授に観ていただきました。

授業後は、校内研修として全職員で授業について気づいた点を出し合った後、両先生方から授業づくりについて学びました。また森准教授には「道徳授業における評価の在り方」についても学びました。1年生両組の授業を見て、入学して数カ月なのに姿勢も良く自分の考えを書いたり、発表したりすることができる子ども達に育っていてすごい子がいるなど感じました。特に、9月7日の公開授業日は、湿度が高く座っているだけでも汗がでる環境に加え、外遊びを終えたばかりの子ども達は汗びしょびしょにもかかわらず、45分の授業を最後まで頑張り抜き本当に偉いと感じました。これからの成長がますます楽しみです。



森准教授いただいたメールの一部：『中村南小にお伺いする度に、・・・真摯に取り組まれている先生方の素晴らしいチームワークにいつも敬服しています。ひたむきに懸命に、そして明るく前向きに。そんな先生方のご様子から、こちらこそ・・・(略)』 校長：先日、私たちの取り組みに自信になる様な言葉をいただき感謝しています。11月13日（月）の道徳研究発表会に向け、全職員が心をひとつにし、授業力と実践力の向上目指していきます。ありがとうございます！

久寿（くす）教育長（津野町）を迎え道徳の授業づくり

9/11日（月）久寿教育長に来校いただき、道徳の授業力の向上のため普段通りの授業を観ていただきました。授業に直接入ってもらって多面的・多角的な見方、考え方へと発展する授業になるよう、授業者も児童も授業の中でアドバイスをいただきました。子どもが主体的になって取り組む授業展開を目指し、習ったことを生かしチーム学校として取り組んでいきたいと思っています。

久寿教育長には、平成26年度より何度も指導を受けてきました。実践家で指導力が高く、人間的に温かく謙虚な方で教師や子どもに心をこめて教えていただいています。今回も多忙な中、早朝に家を出られ、2時間目の授業に間に合うように来ていただきました。来校すると、すぐに2クラスの授業を観ていただき、観察後、授業者は校長室で適切なアドバイスをいただきました。その後、午後の公務のため足早に帰られました。

久寿教育長には「南小はいつ来ても玄関には花がたくさんあって、掃除も行きとどいて階段も廊下もとてもきれい。」「授業中は、どの教室も真面目で落ち着いて勉強できているので学力もつきますね。」と仰っていただきました。また、「最近、こんなに落ち着いて学習できる学校ばかりではありません。このようにできることは、あたり前ではないですよ。」と、子どもも職員も自信が持てる評価をいただき嬉しく思いました。

